



故 細川 巖 前理事長

細川巖前理事長を偲んで

竹 下 健次郎*

当協会の前理事長細川巖氏が平成8年元旦、肝不全のため大分県の東国東地域広域国保総合病院にてご逝去されました。享年76歳でした。まことに残念至極であります。

同氏と私とは、小学校から中学校にかけての同級生でありましたが、頭脳明晰、沈着冷静、真摯な性格で、学業成績も常にトップグループの中でありました。大正8年3月12日生まれですから、私よりもわずか2か月あとのご誕生となります。

昭和19年9月広島文理科大学を卒業されましたが、昭和20年8月の原爆に遭遇されました。幸いにも「九死に一生」の難を免れましたが、わが身を顧みず遭難者の救助に懸命の努力をされたと聞いて

* (財)九州環境管理協会顧問 (九州大学名誉教授)

おります。昭和24年4月福岡第一師範学校を経て、昭和26年3月福岡学芸大学（現在福岡教育大学）助教授となり、昭和33年3月同教授になられました。その間、東京大学から理学博士の称号を授与されております。昭和40年11月から同42年11月まで学生部長を兼任され、将来の学長候補として嘱望されましたが、昭和50年4月同大学を定年前に退職されました。思うに、そのご心境の変化は、同氏がかねてより没頭しておられた仏教に専念するためではなかったかと思われます。同年、宗教法人巖松会代表として「ひかり保育園」を設立され、青少年の心の教育に務められました。なお、昭和50年7月には福岡教育大学名誉教授の称号を授与されました。

昭和48年12月福岡県公害対策審議会会長に就任されましたが、専門の地球化学の造詣を生かして、海や河川・湖沼の汚濁防止に尽力されました。この仕事を契機として、私と肝胆合い照らす仲となり、昭和46年10月財団法人九州環境管理協会を設立するに至りました。初代理事長には元九州大学学長山田稷先生を迎えましたが、よくその補佐の任を果たされ、第二代理事長表俊一郎先生のもとでは専務理事として協会の運営に献身されました。続いて、平成2年5月には自ら第三代理事長に就任されましたが、当協会が現在の隆盛をみる事ができたのも、ひとえに同氏の優れた経営力の賜であります。

昭和56年6月環境庁長官から表彰状を授与され、平成3年8月福岡県知事からも感謝状が贈られました。また、平成4年11月勲三等瑞宝章に叙せられました。これらの受賞ならびに褒賞が同氏の永年にわたる教育・研究、ならびに環境行政に対するご功績の偉大さを物語っております。

また、仏教についての著書も多く、とくに『蓮如上人御一代記聞書（讃仰）』は先生の仏教哲学を遺憾なく発揮された名著であるといえましょう。

当協会も本年5月に25周年を迎えることになりましたが、その記念行事を目前にして突如として亡くなられたことはまことに痛恨の極みであります。しかしながら、残された職員一同、心を新たに当協会の発展のために粉骨砕身努力致す決意であります。

ここに、先生のご冥福をお祈りするとともに、どうか天国より当協会をお守りくださるようお願い致します。

（合 掌）